

令和3年度 教育課程特例校における教育課程に基づく教育の実施状況

1 教育課程特例校としての取組

- ・ 1・2年生は担任とALT、3・4・5・6年生は非常勤講師とALTにて外国語活動及び外国語科の授業を行っている。
- ・ 6年生の外国語の授業を中学校教員が参観する機会を設けることで、小学校での外国語の学習内容や児童の習熟度を確認し、中学校での授業に役立てるようにした。

2 学校評価（自己評価）

自 己 評 価	
成 果	<ul style="list-style-type: none">・ 外国語活動及び外国語科外国語の授業に慣れてきて、活動に楽しく参加できるようになった児童が増えた。・ 英語を話すことに抵抗が少なくなり、恥ずかしがらずに話すことができるようになった児童が増えてきた。・ 3年生以上のすべての授業を同じ教員が行うことで、各学年の学習状況を把握し、指導に生かすことができた。・ 電子黒板の動画やALTが使う教材に素早く反応する児童が増えた。・ 単元の目標をしっかりと示すことで、子供たちが毎時間の授業に目的意識をもって取り組むことができるようになった。
課 題	<ul style="list-style-type: none">・ 特に低学年の児童において、塾等で習っている児童とそうでない児童との間に関心や理解度の面で差が生じている。・ 高学年になるにつれ、英語でのやり取りに自信がもてない児童が多くなってきている。